

キラリ☆中野のチカラ

せきぐち 関口 ゆかり さん 【竹原】



このコーナーでは、大人から子どもまで魅力ある市民の方や団体などを紹介していきます。
今回は、市内の総合結婚式場に勤務する関口ゆかりさんにお話を聞きました。

○現在の仕事を始めたきっかけ
友人の結婚式に参列したときに式の内容に感動し、ブライダルコーディネーターに憧れるようになりました。自分も結婚式を作る側になって、皆さんを感動させたいと思ったのがきっかけです。

○わたしの仕事
ブライダルコーディネーターとして、新郎新婦お二人が望む結婚式のお手伝いをしています。
生まれ育った中野市の自然あふれる式場で働けることに、とても喜びを感じています。
中野市ならではの結婚式を目指し、バラまつり実行委員会の皆さんと連携した「ローズウェディング」を企画・運営するなど、さまざまなことにも挑戦しています。

○ブライダルコーディネーターの魅力
結婚式当日に、新郎新婦の笑顔が一番近くで見れることが魅力です。また、結婚式に参列した皆さんに



喜んでいただいたときもとても幸せな気持ちになります。

家族で一緒にいる時間を多く取れる内容にしたり、サプライズイベントで会場を盛り上げるなど、お二人の想像以上の内容を目指しています。

○今後の抱負について
地域の皆さんに気軽にご利用いただき、この場所で結婚式を挙げて良かったと言われるような式場にしていきたいです。
職場のスタッフ全員が、日々お客さまに満足してもらうために責任と緊張感を持って頑張っています。

これからもみんなで協力しながらより良い結婚式を目指していきたいです。

応募コーナー

○広報クイズ

■今月のプレゼント

「ナカノキノコセット」…3人

問題

本市が全国第1位の生産量を誇るキノコは「●●●タケ」

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入し、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などをご記入いただき、8月26日(月)までにご応募ください。
※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

○我が家のアイドル

平成22年4月2日から平成23年4月1日生まれまでのお子さんを募集します。(先着5人のみ掲載)
①お名前(ふりがな) ②生年月日 ③性別 ④応募者の名前 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦メッセージ(30字まで)を明記し、写真データを添付のうえ、8月16日(金)までにご応募ください。

問い合わせ・応募先

〒383-8614(住所記載不要)

庶務課秘書広報係

☎22111(内線212)

Eメール koho@city.nakanano.nagano.

三井詩穂さん
からのご紹介



○自己紹介

運送会社で品出しの仕事をしています。室温が3度に保たれた冷蔵庫の中で作業が中心なので、寒さと戦いながら仕事を頑張っています。車とバイクが趣味で、休日のたびに愛車と一緒に時間を過ごしています。整備士の学校に通っていたこともあり、車を走らせるだけでなく、整備することも大好きです。

自分の思い通りに整備している時がとても楽しく、時間を忘れるほど夢中になってしまいます。

○中野市のイメージについて

田舎のイメージはありますが、東京の学校から帰ってきたこともあり、空気と空がきれいでとても素晴らしい地域だと思います。



▲きれいな高社山を見ると気分転換できます。

らしい地域だと思います。家の裏から見る高社山や、夜に見ることが出来る満点の星空は、他では味わうことのできない最高の景色だと思います。

○これからのまちづくりに望むこと
愛車に乗って出かけることが多いので、市内の道路が今よりもっと整備されると嬉しいです。

○今後チャレンジしたいこと
趣味を超えて、大好きな車の仕事をしたいです。

整備士以外のことを新たに覚えなくてはならないので大変ですが、車のカスタマイズショップなど「自分の店」を持つことができたら最高です。



やまぎし こうへい
山岸 幸平 さん
(会社員・田上)

池田市長の

わくわくしレポート

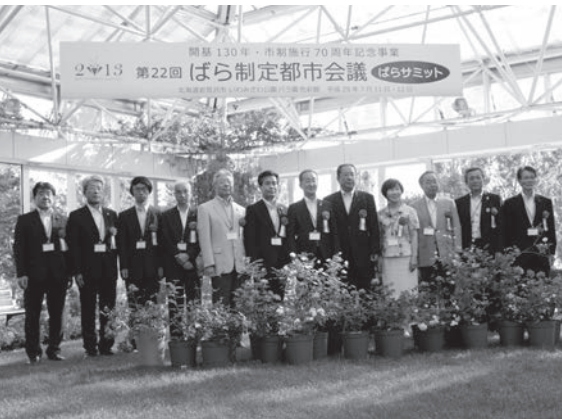
vol. 2



ばらサミットin岩見沢に参加して

7月11日から12日にかけて、北海道岩見沢市で開催された「第22回ばら制定都市会議(以下、サミット)」に出席した。平成4年から始まったサミットは、四半世紀の歴史ある会議でもある。北海道の空は抜けるように青く、広がる田園地帯の小高い丘の麓に「いわみざわ公園バラ園」があった。レストランや、冬期にも植物を楽しめる温室が整備されている立派な施設であった。

サミットには、中野市と同様に地元青年会議所の皆さんや地元高校生



▲第22回ばら制定都市会議の様子

が参画していたとのことだが、今回最も感動したことは、高校生による「ばらを使ったまちづくり」をテーマにもうひとつのサミットが開催されていたことであった。また、高校生たちのサミットへの取り組みをドキュメンタリータッチで仕上げた映像の上映、関係者によるオーボエとフルートによるウエルカムコンサートなど、映像や音楽の効果的な演出が印象に残った。

中野市は音楽の素養溢れる都市であり、私たちも、さらに磨きのかかったサミットが開催できると思った。奇しくも第23回のサミットを中野

市で開催する旨の宣言をしてきた。課題はたくさんあると思う。交流促進の一大イベントと位置付け、本市の魅力を最大限発信する機会にぜひともしたいと思っている。私は、中野市のバラ公園は他に抜きんで素晴らしい公園だと自負している。それは永年、バラ公園を創り上げてきた関係者の皆さまの努力のおかげだと感謝している。そうした皆さまの思いにお応えし、来年は総力を挙げて中野市でのサミットを創りあげたい。市民のみなさまのお力添えを切に願います。